



## ネパール・ミカノ会

No. 5号 1998・8・10発行

〒194-0213 東京都町田市常盤町 3195

世田谷区内ネパール・ミカノ会 ☎ 0427-95-0016



### 「円融無碍」

ミカノ会・会長 斎藤 謹也

今、ミカノ会は、おもしろい、そう思いませんか。多種多様な会員、職業も年齢も考えもみんな違う。違うことがよろこびになる事はそうそうありません。小異を捨てて大同につくという言葉がありますが、小異も大事にして違いを認めあった上で、走り出せば気持ち良く助け合う。そんな会になってきたように思われます。お互いの力を認めあうことによって、おもわぬパワーがはっきできるようなと思っています。今ミカノ会は、疲れを知らないように、徐々にスピードアップしているようにみえるかもしれません。金はないが、心意気は盛んな会です。「円融無碍」「道本円通」で縁にあったって、柔軟に受入れ、自分たちに行えることは果敢にして実行に移す。そんなポリシーですすんでいます。

4月桜まつりのネパール大使夫妻の招待に始まって、5月の高原書店での報告会。夢の記NoⅡ発行。6月の総会。そして7月11日の多くのNGO団体福祉団体を集めての夢広場。そこでは、又、新たな各種の活動家と仲良くなれました。又、7月31日の「ネパール密教舞踊の夕」主催といった、やつざばやのイベントは少しいそがしすぎるかもしれません。勿論、ネパールではルンビニ・タンセン。カトマンドゥ郊外の小学校建設、中学校屋根修復、大学図書館援助が始まっています。ヌルブ・ラマ君のミカノ会現地事務所開設の政府認定によって、大変援助がやりやすくなりました。ネパール旅行を、援助という目的をもった充実した旅にしようという素朴な発想から生まれたこの会も、今年度の郵政省ボランティア貯金の配分決定(約63万円)によって、NGO団体として認知されたように思われます。又、町田市の援助事業補助金などを加えると、いよいよ、団体としての内容が、ともなってきたように思います。

ネパール援助も国内活動も元気。会員同士も仲が良い。気楽でちょっと忙しくて心満たされる。「私ができる」と思うことはみんなも同じように考えていることが多いと思います。だから、思ったことは、口に出す。伝えることによって思わぬ仲間がふえていきます。どうか、例会(毎月第三土曜日三時からこもれび堂)にも、できるだけ都合を付けてご参加ください。又、各種のイベントにも顔をだして下さい。一步踏み出すと心が形になっていきます。ミカノ会は、今、とってもおもしろいですよ。

## タンセン

ネパール王国を訪れる人達がネパールのすべてを知りたいと思われるならば、タンセンをぜひとお勧めします。タンセンは人口 20,000 人ほどの小さな町です。この町はポカラから釈迦が誕生されたルムピニへの途中にあります。チトワン国立公園からさほど遠くありません。海拔 4300 メートルのスリナガル丘の南面する中腹にあります。この町の最も魅力のあるところは、古い文化、友好的な人達、素晴らしい山の景観となかみずく町の静かたたずまいです。気候は 1 年をとおして、穏やかであり、どの季節に訪れても快適なところです。

町の住民の多くはネパール族とマガル族であり、長らく頼りになる戦士として知られていました。タンセンの王は 15 世紀に西部ネパールに絶大な権力をふるっていました。その王はパルパ(Palpa) は今日のネパールを統一した征服王ガークハス(Gurkhas)に敗れた最後の王朝でした。タンセンの人達がさらに名を挙げたのは 1800 年代初期の英軍—ネパール戦争です。ウジール・シン・サバ大佐(Col. Ujir Shingh Thapa)はこの地区で軍を率いていましたが、その時の状況は極めて厳しいものでした。大佐の兵は英国軍の 4 に対して 1 と数で圧倒されていました。大佐は戦いに臨む前に神助を必死に求め、狂暴で血の生かえを好むバグワティ母神の御名にかけてお寺の密造を約束しました。大佐は勝利を得ました。1815 年に大佐は約束を守り女神に一堂を建立しました。タンセンの住民の得意は戦いだけではありません。

マガル族のジャムレ(jamre)の民族舞踏は色彩豊かです。祭りの間、踊りと宴はマダル (madal) の太鼓のひびきのなかで行われます。英国—ネパール戦争のもう一人の大立て者アーマー・シン・サバ(Amar Singh Thapa)もタンセンに深く結びついています。アーマーは、タンセンの町の長官のときに、カトマンドゥ・ヴァレーからアーマー寺院建立のために輪のよい駝道を招来しました。この寺院の木彫りはすばらしいものです。ビシュヌ神に礼拝が毎日ささげられています。

1846 年から 1951 年のラナ首相の時代には、タンセンは重要な辺境への基地になりました。行政府に逆らったものや政治犯がカトマンドゥ・ヴァレーからタンセンを越えて送られたのでした。遙かとおくに追放することで支配者に反逆できないと考えられたのでした。のち、ラナはタンセンを政府軍(役人)の避暑地として開発し、王宮とラナの私用邸宅を建てることに努めました。タンセンの町の中心にこのような王宮があり、バグ・ギ・ダカ(Bag gi Dhaka)と呼ばれる大きな門があります。カージャ・シャームシャー・ラナ(Khadga Shumsher Rana)が王宮にまいるさいに象から降りる必要がないように作られたと言う人もいれば、馬が牽く戦車が王宮の広場にはいりやすいように作られたのだという人もいます。手の込んだ模様のダッカ (dhaka) はネパールでも有名な手織り布です。カトマンドゥ・ヴァレーのネパールの女性はそのショールをここ数十年好んで身につけています。ネパールの国民的帽子、トピー (topi) の材料もダッカです。ダッカはこの町のバザールで手に入れることができます。機織り機で働いている織女が見られるのも興味あるでしょう。

タンセンには陶器職人と金属職人もいます。陶器はタンセンの多くの家庭で今も使われています。地元用として、水差し、水壺、そしてろ過器も粘土で作られています。地酒のチャン (Chang) をかわらけに貯蔵しておくともよく冷えます。金属職人は深皿、カルワの水差し、礼拝用の料理道具、タバコ用の水キセルを作っています。

タンセンは魅力的です。「近代化、汚染そして都市化による喧騒」に汚されていないからです。晴れた日には、町からは、ダウラギリ、アンナプルナ、マナスル、ガウリシャンカ—とその他の峰々が眺望できまし、さらに一層わくわくさせてくれるヒマラヤ山群の景観が広がるスリナガル丘に歩けます。

タンセンにはホテルが数軒あります。この避暑地へ訪れるお客さまの数は、年毎に増加してきています。それで旅行者の施設があるのです！タンセンはネパールを満喫しようとする人々に十分に応えます。



\*前回の旅行で我々が最も気に入った、ネパール山間都市タンセンを、加藤さんにインターネットから英文データを出してもらい大塚勝弘さんに翻訳していただきました。



1998年 6月22日付けで郵政大臣からの国際ボランティア貯金の配分通知をいただきました。



7月11日・12日にネパール・ミカの会の呼びかけで、第一回夢広場（国際ボランティア祭り）が行なわれました。

#### 夢の下書き

短い夏になりそうです。あわただしく通りすぎるミカの会の夏のようなです。もう第三回ネパール支援旅行の募集をしなければならぬ時期になりました。

来年度より、町田市の補助金も、以前の交通費の三分の一から、事業補助となりました。交通費を事業の内という考えもあるようですが、ボランティア貯金からの補助と、町田市の補助を合わせると、なんと百万円以上の補助金がかかる団体になったわけです。

ネパールの教育支援の旅も、校舎修理から建設へ。また図書支援、奨学金等と幅広いものになってきましたが、あくまで我々の目のとどく直接支援が当会のモットーであり大切にしたいと思えます。

その意味でも、ぜひ第三回の旅行も、多くの会員の参加を期待します。

旅行コースは現在の時点では

前回どうりのカトマンドゥーチトワントールンビニータンセンイボカラウカトマンドゥウの予定ですが、あわただしいのも事実です。正式な参加者が決まってから検討してみたいと思います。日程も前回同様三月三日〜九日を予定しておりますのでおはやめにスケジュールを調整していただければと思います。費用も円安が少々気がかりですが前回どうり二十万円以内でおさまるような旅行にしたいと思っております。

ふるってご参加いただけるようお願い致します。

(事務局)

#### 緊急事務連絡

八月の定例会は、八月二十二日(土)午後三時に変更されましたので、御注意下さい



## 第2回ネパール支援ボウリング大会



昨年は関係者、プロボウラー、参加者の皆様のおかげで約200,000円のチャリティー資金を得る事ができました。皆様に心より感謝申し上げます。

本年3月ネパールに持参お釈迦様生誕の地ルンビニの小学校の建築資金の一部として使用させていただきました。子どもたちの喜びと感謝を皆様にお伝え出来れば幸いです。

しかしながら、まだ多くの子どもが十分な教育を受けられない状況です。引き続き応援をお願いしなければなりません。

下記の日程で第2回ネパール支援ボウリング大会を開催致しますので奮ってご参加、ご協力をお願い申し上げます。参加申込書、競技内容などは後日ご案内申し上げます。

## 第2回ネパール支援チャリティーボウリング大会

日 時：1998年9月2日 午後7:30 受け付け 午後8時 スタート

場 所：ジャスコスペースレーン相模原 古淵駅前

参加人数：全レーン使用 136名

参加料：¥3,000

競技方法：3ゲームトータル戦 女性、シニア、ジュニアハンデ-

賞 品：優勝、準優勝、ハイゲーム、参加賞など多数を予定

### 《お願い》

賞品のご寄付、ご協賛をお願い申し上げます。

競技参加をお願い申し上げます。

世話人

小野田義之、加藤誠一、望月重男

